

## 平成10年度試験研究成果

区分	指導	題名	B I S データによる県有種雄牛の能力調査		
〔要約〕					
<p>県有種雄牛産子の肥育成績を肉用牛情報総合活用システム（Bovine Information System：B I S）データから抽出した。後代数の多い種雄牛は第5夏藤及び山盛金であり、その成績について検討した。その他種雄牛の成績は、今後収集分析を行う。</p>					
キーワード	B I S	後代の肥育成績	県有種雄牛		畜産研究所種山畜産研究室

### 1 背景とねらい

凍結精液の需要が市場評価の高い種雄牛に偏る傾向があり、市場での取引成績は種雄牛により顕著な価格差を生じている。そこで、B I S データを利用して県有種雄牛産子の肥育成績を検討し、繁殖及び一貫経営農家の交配指導に必要な情報を提供することを目的に調査を行った。

### 2 技術の内容

平成9年度から平成10年度（途中）の県有種雄牛産子の肥育成績を表1に示した。

- 1) 第5夏藤は、肉色（B C S）はやや濃く、しまり・決めはやや劣るが、ロース芯面積及びバラ厚で県平均をやや上回る。枝肉重量は県平均を大きく上回り、推定育種価も高いことから、特に資質系への交配による枝肉重量改善効果が期待できる。
- 2) 山盛金は、枝肉重量を除き第5夏藤とほぼ同様の成績であったが、推定育種価からは、肉質・肉量の両面で良好にバランスしており、交配相手を特に限定せずに供用可能である。

### 3 指導上の留意事項

- 1) 肉用牛情報総合活用システム（B I S）データから抽出した肥育成績である。
- 2) 表中の育種価評価値及び観測形質の平均値（B M S を除く）は全国和牛登録協会による平成10年7月時点の評価値である。
- 3) 表中のB M S の平均値は牛枝肉格付情報（平成9年4月～平成10年3月分：全国肉用子牛価格安定基金協会及び日本食肉格付協会）の値である。

### 4 技術の適用地帯

黒毛和種飼養農家

### 5 当該事項にかかる試験研究課題

肉用牛1 - 1 - (3) - ア 県有種雄牛の能力調査

### 4 参考文献・資料

- 1) 岩手県下収集枝肉データに基づくアニマルモデルによる育種価評価結果について .全国和牛登録協会 . 1998
- 2) 牛枝肉格付情報（平成9年4月～平成10年3月分）. 全国肉用子牛価格安定基金協会及び日本食肉格付協会 . 1998

5 試験成績の概要

表1 県有種雄牛産子の肥育成績

単位：頭、kg、cm<sup>2</sup>、cm、円、%

種雄牛	第5夏藤	山盛金	(参考)		観測形質の 平均値
			糸 菊	夏 茂	
標本数	788	33	5	3	24,722
出荷期間	97/04/01 ~ 98/09/30	97/04/28 ~ 98/09/30	97/10/06 ~ 98/03/18	97/07/01 ~ 98/05/25	
枝肉重量	431.5 ± 56.4	398.7 ± 44.7	366.8 ± 60.4	369.0 ± 28.9	395.4 ± 53.30
ロース芯面積	51.6 ± 8.1	51.9 ± 7.3	54.4 ± 9.5	54.0 ± 7.7	49.9 ± 6.74
バラ厚	7.5 ± 1.1	7.3 ± 0.7	6.6 ± 1.0	7.7 ± 0.5	7.1 ± 0.85
皮下脂肪厚	2.4 ± 0.9	2.0 ± 0.6	2.0	3.0 ± 0.8	2.3 ± 0.78
脂肪交雑基準					1.91 ± 0.93
BMS	5.5 ± 2.3	5.4 ± 2.0	6.6 ± 3.1	8.0 ± 1.6	5.8
BCS	4.0 ± 0.7	4.0 ± 0.7	3.6 ± 0.5	4.0	
肉の光沢	3.7 ± 1.0	3.6 ± 0.9	4.2 ± 1.2	4.7 ± 0.5	
しまり	3.6 ± 1.0	3.6 ± 0.8	4.2 ± 1.0	4.7 ± 0.5	
きめ	3.7 ± 0.9	3.6 ± 0.8	4.2 ± 1.0	4.7 ± 0.5	
BFS	3.0 ± 0.4	2.9 ± 0.3	2.8 ± 0.4	3.0	
脂肪の光沢質	4.7 ± 0.5	4.7 ± 0.4	4.8 ± 0.4	5.0	
枝肉単価	1706.2 ± 412.2	1671.4 ± 326.2	2553	2139.7 ± 208.1	
4等級以上割合	48.1	45.5	100.0	60.0	
推定育種価					
標本数	500	182	18	19	
脂肪交雑	1.699	1.231	1.013	1.661	
ロース芯面積	6.954	3.996	1.503	2.623	
枝肉重量	68.703	15.699	-18.770	-35.433	

1 表中の推定育種価及び観測形質の平均値（BMSを除く）は全国和牛登録協会による平成10年7月時点の評価値である。

2 BMSの平均値は牛枝肉格付情報(平成9年4月～平成10年3月分)の10,419件の平均値である。